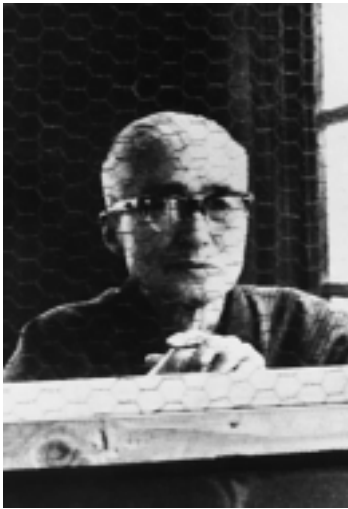


帝銀事件・再審請求の開始を求めるアピール



無実を叫びながら無念の獄死を遂げた平沢貞通氏の死から来年で 20 年、帝銀事件発生から再来年で 60 周年を迎えます。平沢氏は初公判から犯行を否認、95 歳で獄死するまでの 39 年間一貫して無実を叫び続けました。その間、35 名の法務大臣は、誰一人として死刑執行に判を押せなかったのです。

平沢氏の死後、養子の武彦氏が死後再審請求を申し立て、確定判決が証拠として採用した自白調書、精神鑑定の信憑性を各専門家に鑑定を依頼、再審開始になってしかるべき数多くの新証拠・新証言を現在審理している東京高裁に提出しました。東京高裁は結論を出さないまま 17 年の歳月が過ぎました。この間、再審請求の理由を審理・検証をしている裁判官が変わるなど、司法当局の不誠実な対応には疑問を持たざるを得ません。

帝銀事件は米軍占領下の暗い時代に起きた象徴的な事件であり、この裁判は平沢貞通氏の人権のみならず、戦後の民主主義を問う重要な試金石だとわたしたちは認識しております。

死刑囚のまま獄死した平沢貞通氏の冤罪を晴らし人権を回復するため、わたしたち「平沢貞通氏を救う会」も、平沢氏の 19 回目の命日にあたる 5 月 10 日新体制を発足いたしました。あらゆる政治思想にとらわれず、あくまでも個人参加による運動として、精神医学者秋元波留夫氏を新会長に迎え以下の新陣営で取り組んでいく所存です。

わたしたちの運動にご賛同、ご支援を心よりお願い申し上げます。

2006年5月10日 平沢貞通氏の19回目の命日
平沢貞通氏を救う会

「平沢貞通氏を救う会」新体制

会長 秋元波留夫(精神医学者)

代表委員(五十音順)

荒木伸怡(立教大学教授・刑事訴訟法)

井崎均(ジャーナリスト)

菊田幸一(明治大学名誉教授・刑事法)

新藤兼人(映画監督)

千野皓司(映画監督)

田英夫(参議院議員)

針生一郎(美術評論家)

三ツ松要(市民運動家)

ヨシダヨシエ(美術評論家)

事務局

事務局長 片島紀男(TVディレクター)

事務局次長 小林俊之(フリーライター)

広報 加藤雅昭(写真家)

事務局員 栗原有

細川次郎(弁護団対応)

会計監査 吉永愛子

再審請求人 平沢武彦

帝銀事件第19次再審弁護団

主任弁護人 保持清 弁護人 一瀬敬一郎 北潟谷仁 荒木伸怡 鈴木貞司 菊田幸一